

News Release

2021年9月30日

森トラスト株式会社  
ソフトバンクロボティクス株式会社  
株式会社 Octa Robotics  
三菱HCキャピタル株式会社

## 森トラスト、ソフトバンクロボティクス、Octa Robotics、三菱HCキャピタルが ロボットフレンドリーな環境構築に向けた研究開発を開始

経産省の補助事業として、さまざまな施設環境におけるサービスロボット活用の普及に貢献



© SoftBank Robotics



© SoftBank Robotics

研究開発に用いる配膳・運搬ロボット「Servi」(写真左)と除菌清掃ロボット「Whiz i」(写真右)

森トラスト株式会社(代表取締役社長:伊達 美和子)、ソフトバンクロボティクス株式会社(代表取締役社長 兼 CEO:富澤 文秀)、株式会社 Octa Robotics(代表取締役:鍋嶋 厚太)、および三菱HCキャピタル株式会社(代表取締役 社長執行役員:柳井 隆博)の4社で実施する研究開発事業においては、このたび、経済産業省による補助事業「令和3年度革新的ロボット研究開発等基盤構築事業\*1」に採択されました。この度の採択を受け、4社は、施設の屋内におけるサービスロボットのスムーズな運行を可能とする「ロボットフレンドリーな環境\*2」の構築に向けた調査、および研究開発を開始します。

昨今、少子高齢化社会における深刻な労働力不足や、新型コロナウイルス対策に伴う接触機会の軽減の観点から、サービスロボット活用への期待が寄せられています。一方、段差等の障害物の排除など、ロボットの活用にあたり施設側の環境整備などの課題もあります。

今回は、森トラストが保有するオフィスおよびホテルにてサービスロボットを走行させ、運用時の障害を洗い出すことで、サービスロボットを活用しやすい施設環境の調査を行います。同時に、その環境で稼働するサービスロボットの性能や投資対効果などの検証を行います。それらの結果をふまえ、段差や床・壁の材質、通信環境などの観点から、サービスロボットが問題なく作動し、業務を遂行できる環境に関する要件の整理を行います。将来的には、ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会(RRI)\*3と連携し、本要件をサービスロボット導入に関わるさまざまなパートナーと共有できるガイドラインとして提言することで、施設の維持、管理におけるロボット導入の加速に貢献します。

森トラストは、不動産開発から管理運営までを一気通貫で行っており、ビルに関するハード面や運営面での知見を有しています。さらに、サービスロボットを利用した実証実験や導入実績により蓄積されたノウハウを生かして、今回の研究開発を主導していきます。また、ソフトバンクロボティクスの多岐にわたるサービスロボットの開発およびさまざまな現場への導入実績、Octa Robotics の標準化力とサービスロボットの開発力、三菱HCキャピタルの新たなロボットサービスの実現を見据えて RRI の一員として築いてきた、ロボット分野における強固なパートナーシップやソリューション構築力などの強みを生かし、4 社でロボットフレンドリーな環境整備、持続可能な社会の実現に貢献します。

- \*1 ロボットの導入が進んでいないサービスなどにフォーカスをあて、ユーザー側の既存の業務プロセスや施設環境などを見直すことを前提とした、「ロボットフレンドリーな環境」を構築するための開発を行う者に対して補助金を交付する事業  
(参考:9月30日付 経済産業省ニュースリリース「ロボットフレンドリーな環境が実現する日が近づいています。」  
<https://www.meti.go.jp/press/2021/09/20210930003/20210930003.html>)
- \*2 サービスロボットの普及に向けた、ロボットを導入しやすい環境
- \*3 ロボット新戦略(2015年2月10日日本経済再生本部にて決定)に基づき、当該戦略に掲げられたロボット革命を推進することを目的に、民間主導で設立されたプラットフォーム

#### ■ 今回の研究開発について

目 的	サービスロボット運用上の環境因子項目の実測に基づく洗い出し・分類 ロボットフレンドリー環境下でのロボット側・環境側双方の要求仕様の整理
場 所	城山トラストタワー (東京都港区虎ノ門 4-3-1) 東京マリオットホテル (東京都品川区北品川 4-7-36)
実 施 期 間	2021 年 9 月～2022 年 3 月 (予定)
各 社 の 役 割	<p>森トラスト : ・プロジェクト管理、成果の取りまとめ ・プロジェクト実施場所の提供</p> <p>ソフトバンクロボティクス : サービスロボットの実証実験・研究開発を用いた ロボットフレンドリー環境の測定</p> <p>Octa Robotics : ・ロボットフレンドリー環境の標準フレーム ワーク案作成 ・ロボットフレンドリー環境を前提とした 移動型サービスロボット仕様の検討</p> <p>三菱HCキャピタル : ・移動型サービスロボットプロトタイプの有、 および提供 ・サービスロボット普及に向けた新たな サービス等の検討</p>

#### ■ 森トラストについて

森トラストグループは、約 70 年にわたり、日本の都心部の大型複合開発や、主要リゾート地でのホテル&リゾート事業を手掛けてきた総合不動産デベロッパーです。

2030 年より先の社会を見据え、新しいテクノロジー、新しい形のコミュニティ、そしてそこから生まれる様々なシナジーをリアルとサイバーの両方で享受できる、わくわくするような未来の創造を、森トラストグループはめざしてまいります。 <https://www.mori-trust.co.jp/>

## ■ソフトバンクロボティクスについて

2014年に世界初の感情認識パーソナルロボット「Pepper」を発表して以来、ロボットソリューションの第一人者としてテクノロジーの発展を推進。2018年には除菌清掃ロボット「Whiz」、2020年には配膳・運搬ロボット「Servi」も発表し、幅広い業界へ新たなソリューションを提供しています。

現在では、東京・パリ・ロンドン・サンフランシスコ・ボストン・上海・北京・深セン・香港・シンガポール・シドニーと世界11カ所の拠点で、各地域での新たな価値の創出に努めています。

ロボットや関連するさまざまなプロダクトを自社だけでなく世界中の企業とのパートナーシップを通じて開発し提供していくことで、人とロボットが共生する社会の実現に向けて邁進しています。

<https://www.softbankrobotics.com/jp/>

## ■Octa Roboticsについて

Octa Robotics(2021年5月設立)は、最先端のロボティクス技術を組み合わせ、お客さまそれぞれの現場ニーズに最適なカタチを提案し、新たな価値を提供しています。

ロボットサービスの安全運用に不可欠なルール作りである標準化と、スピード感を持った開発・実装・導入までの企業アライアンスを強みとし、お客さまの本質的なニーズに寄り添いながら研究開発、サービス提供を行います。 <https://www.octa8.jp/>

## ■三菱HCキャピタルグループについて

三菱HCキャピタルは、2021年4月1日、三菱UFJリース株式会社と日立キャピタル株式会社の統合により、誕生しました。三菱HCキャピタルグループは、「社会資本／ライフ」「環境・エネルギー」「モビリティ」「販売金融」「グローバルアセット」を注力領域としています。三菱HCキャピタルは、絶えず変化する社会やお客さまのニーズに応えるべく、地球環境に配慮し、独自性と進取性のある事業を展開することで、明るく希望に満ちた未来社会や豊かな暮らしの実現に貢献していきます。 <https://www.mitsubishi-hc-capital.com/>

## ■報道機関お問い合わせ先

森トラスト株式会社 広報部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー

E-mail [koho@mori-trust.co.jp](mailto:koho@mori-trust.co.jp)

ソフトバンクロボティクス株式会社 広報室

〒105-7537 東京都港区海岸一丁目7番1号 東京ポートシティ竹芝オフィスタワー

E-mail [SBRGRP-PR@g.softbank.co.jp](mailto:SBRGRP-PR@g.softbank.co.jp)

株式会社 Octa Robotics 広報担当

〒336-0022 埼玉県さいたま市南区白幡三丁目11番24-1号

E-mail [contact@octa8.jp](mailto:contact@octa8.jp)

三菱HCキャピタル株式会社 コーポレートコミュニケーション部

〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

TEL 03-6865-3002 (直通)

以上